

‘おだいじに’ だけでは済まない 言葉かけレッスン

重い病気やケガの患者さんを看護師は相手にすることもあり、そうすると人並み以上のコミュニケーション能力が必要となります。笑顔で「おだいじに」と言うだけでは済みません。コンビニや飲食店でのアルバイトのように、マニュアル通りに対応すればよいという訳ではないのです。

この授業体験では、2 年次の人間関係論の授業の中で行っている「言葉かけレッスン」の一部を体験していただきます。食後に「ご飯はまだ？」と聞いてくる患者さん、「もう死にたい」と言っている患者さんなど、いくつかの困難なケースについて、のぞましいコミュニケーションの方法を考えていただきます。

お誘いあわせのうえ、ご参加ください。



日時 6月17日(日) 11:30-12:00
7月29日(日) 11:30-12:00

場所 東京女子医科大学 女性生涯教育センター 2階
多目的教室

担当 諏訪茂樹（本学看護学部 人文社会科学系 社会学准教授）
●担当授業は「人間関係論」、「社会と人間」、「保健医療行動科学」、他。
●著書として『対人援助とコミュニケーション』（中央法規出版）、『看護にいかすリーダーシップ』（医学書院）、『コミュニケーション・トレーニング』（経団連出版）、他。
